

大学の世界展開力強化事業
令和5(2023) 年度採択
令和6(2024) 年度フォローアップ結果

大学の世界展開力強化事業プログラム委員会
令和7(2025) 年3月28日
独立行政法人 日本学術振興会

フォローアップの総括

2023年度に採択された13件のプログラムについて

- ① 交流プログラムの内容
- ② 学生主体の国際交流プログラム
- ③ オンライン(「JV-Campus」等)を活用したプログラム
- ④ 質の保証を伴った魅力的な大学間交流の枠組み形成
- ⑤ 外国人学生の受入及び日本人学生の派遣のための環境整備
- ⑥ 事業の実施に伴う大学の国際化と情報の公開、成果の普及
- ⑦ 特記すべき成果

上記の7観点により、計画の進捗状況や設定した達成目標に対する実績(派遣・受入学生数)等を調査票によりフォローアップの上、各プログラムから提出された調査票から主なものを抽出・整理した。

フォローアップの総括

2023年度は事業初年度であるため派遣・受入計画を行わず準備期間に充てた事業もあるが、初年度から積極的に派遣・受入を実施し目標値を上回る実績を挙げた事業も少なくない。全体での目標の達成率はやや低い水準となっているが、派遣学生・受入学生ともに8割が単位取得を伴う派遣留学も経験できている結果となっており、今後の事業本格実施に伴いさらなる交流推進へと期待したい。

なお、このフォローアップは、大学の世界展開力強化事業の適正な事業管理を行うとともに、採択プログラムにおける円滑な事業実施の支援や成果の還元のため、各取組の進捗状況等を確認することを目的に実施しているものである。

取組の進捗状況 ①交流プログラムの内容

信州大学 タイプA：交流型

共通教育科目教養系の既存授業科目に地域課題解決などの本プログラムの狙いとしている要素を加え、対面型の地域課題解決国際共修科目として実施した。米国交換留学生参加による国際共修授業は、多岐にわたる学部の学生が参加し、文理の枠にとらわれることなく意味ある交流が開始できた。また、本プログラムの協業期間中は定期交換留学学生数について双方で柔軟に対応していくことを取り決めた。

広島大学 タイプA：交流型

従来生成AIは個人の環境で使うものだが、本プログラムで開発した「HiGPT」というAI翻訳機能を兼ね備えた生成AI教育支援ツールとZoomを活用することにより、日米の学生がCOIL型学習で生成AIを同じ画面をみながら同時に体験し議論することが可能となった。COIL型学習のシラバス、事前学習用のビデオ教材、および、学生の学習効果をはかる事前・事後アセスメント等を日米の教員が協力して作成した。

②学生主体の国際交流プログラム

琉球大学 タイプA：交流型

令和6年2月に実施したキックオフ・シンポジウムのIce Breaking Sessionとして、連携大学の教職員及び学生が参加する交流会を短期派遣学生主体で企画立案し、当日の運営までを担当した。交流会の内容や構成について事前打合せや検討を重ねた結果、大学の枠を超えた、良好なネットワーク形成の一助となった。

○関西大学、東北大学、千葉大学 タイプB：交流+拠点形成・プラットフォーム構築型

2023年度は、WorldEXP02025を控えた中、EXP02025共創チャレンジプロジェクトへの正式な参加申請を行い、承認されている。2023年12月に実施された共創チャレンジ発表イベントにも参加し、学生たちが今後この機会を活用しオンラインとオフライン現地で交流を行うことができるよう環境整備を行った。2024年1月には、学生たちが主体的に参加し実施したEntrepreneurshipプログラム（ソーシャルビジネス企画を考えだし実際の企業等の前でプレゼンを行う）や、2023年10月-2024年1月で行われたKandai's Got Talent（外国人留学生が主体となったポスターセッションイベント）も実施した。

③オンライン(「JV-Campus」等)を活用したプログラム

東京芸術大学 タイプA：交流型

令和6年度の「ゲーム概論」の講義の中で、京都で開催されている国内最大のインディーゲームの祭典「BitSummit」の関連催事「art bit」というアート×ゲームの展覧会の現場からの生中継が行われるなど、オンラインならではの試みが行われ、学生にとっても最先端を生で見る刺激的な内容になった。

信州大学 タイプA：交流型

英語力向上のため、グローバル化推進センターと全学教育センター教員の担当教員を定め、民間企業とともに議論を深めたことにより、4技能の学習方法の解説動画やテキスト学習、オンラインでの添削付き4技能学習およびTOEFL iBTスコア模擬テストまで含めた自立型学習講座をトータルパッケージとして開発することができた。同教材を用いた短期集中プログラムの試行実施を通じて、英語教材の整備にむけて前進することができた。

○関西大学、東北大学、千葉大学 タイプB：交流+拠点形成・プラットフォーム構築型

JIGE事業としてJV-Campusを活用する上で、より双方向の学びとなるよう、J-Campus Community (J-CC)というフォーラムベースのアプリも導入し、この2つのコンビネーションでコンテンツの活用を推進している。J-CCについては、JIGEのホームページでも紹介している(参照URL：<https://www.kansai-u.ac.jp/Kokusai/JIGE/program/>)。JV-CampusからJ-CCへと動線を作ることで、学びの双方性を高め、渡航留学において滞在する際にも、繋がりによって心理的な面からもサポートがある環境を提供することができる。

④質の保証を伴った魅力的な大学間交流の枠組み形成

○東日本国際大学、福島工業高等専門学校 タイプA：交流型

本プロジェクトを具体的な内容等を検討するために、メールに加え、月1～2回程度の頻度でZoom会議(世界展開力強化事業推進会議及び日米間担当教職員連絡調整会議)を米国側(教学最高責任者や副学長等も含む)と継続して実施している。

2024年3月6日(ハンフォード)、3月7日(福島)に、2023年度日米共同ワークショップ(米国側参加者8名、日本側参加者7名)を、Zoomを活用して実施し、日米間で構築するカリキュラムの内容、講義方法等について議論した。加えて、日米間の学生交流が日常的に実施できるよう、日米間交流用接続機器を設置した。また、本プログラムを推進するための非常勤教員二名採用し、これらの二名については、2024年4月から専任教職員となった。さらに、EnglishScoreを活用した学生の英語能力計測を開始するとともに、BEVIを推進している広島大学の教員を招へいし講演会を実施するなどBEVIの導入に向けた準備を行った。

⑤外国人学生の受入及び日本人学生の派遣のための環境整備

○東日本国際大学、福島工業高等専門学校 タイプA：交流型

2023年度の日本人学生の派遣に際しては、日本学生支援機構(JASSO)の海外留学支援制度(協定派遣)の制度を活用するとともに、一般社団法人「福島浜通りトライデック」から派遣学生に対する奨学金授与の支援を得た。また現地では連携大学がホームステイ先の調整に動いてくれており、受け入れについても同様の手厚い対応を行った。

関西国際大学 タイプA：交流型

1. 専属の職員を配置し、外国人学生の受入のために渡航手配、宿舍手配、参加案内、事前研修の準備などきめ細やかな支援を行った。また、英語運用能力の高いアルバイト2名を雇用し、滞在中のアテンドやグループワークの補助など学修サポートを行う体制も整えた。
2. 派遣学生に対しても同様の支援を行うとともに、英語運用能力の強化を図るため、英語講師によるプライベートレッスンの機会拡充を図るとともに、渡航前に現地大学教職員によるオンラインでの概要説明等の基礎学習機会を提供した。

⑥事業の実施に伴う大学の国際化と情報の公開、成果の普及

○宮崎大学、南九州大学、宮崎国際大学、宮崎学園短期大学

タイプA：交流型

MIYAZAKI UX (University Transformation) 次世代を担うデジタル人材育成シンポジウム「知（学術）と地（宮崎）で値（社会価値）を創出する未来のオープンイノベーション」を開催し、本プログラムの取組については「世界展開力強化事業 デジタル技術を駆使した新しい留学」と題し、国際連携センター長が講演した。国内連携大学を含む県内大学や企業などが参加する中、大学関係者、文部科学省および総務省の関係者が基調講演を行い、産官学の視点人材育成について議論された。

○関西大学、東北大学、千葉大学 タイプB：交流+拠点形成・プラットフォーム構築型

2024年1月24-26日に、JIGEのキックオフシンポジウムを実施した。海外からも6名を招聘し、加えてシンポジウムに合わせて来日し参加した海外大学からの参加者らが合計3名、3大学のメンバーと合流し盛会となった。1日目は千葉大学 墨田キャンパスにてワークショップ形式でキャパシティビルディングの機会の提供を行い、2日目は基調講演などを含む事例報告を行った。3日目にも分科会形式でワークショップを行った他、先述のビジネスピッチコンテスト（アイデアソン）も同日実施した。オンラインでも69名の参加があり、国内外に本プログラムの認知度を高める良い取組となったと言える。

⑦特記すべき成果

筑波大学 タイプA：交流型

JV-Campusの活用については2023年度からJV-Campus事務局と協力して検討していたが、2024年4月から筑波大学内で新たに組織化されたJV-Campus連携室とも協力体制を構築した。2024年5月にOSUから工学系の学生を受け入れた際には、本プログラムに参画する筑波大学とOSU双方の学生がJV-Campusに作成したコースに受講登録した。当該コースにおいては、事前学習として自身の関心領域を投稿してもらったほか、日本に関する質問を投稿してもらった。また、日々の活動をJV-Campusに記録するほか、筑波大学学生の研究内容を投稿し情報交換を行った。一連の研修が終了した際には、希望者に対してデジタルバッジを修了証として交付した。修了証には、学修成果等の情報が記載されている。

琉球大学 タイプA：交流型

令和6年2月に、米国ハワイ州において「Inter-Island Sustainability Educational Program Kick-off Symposium 2024」を開催した。このシンポジウムには、本プログラムの連携大学5大学の代表者と琉球大学学生及び教職員が約50名参加した。本プログラムがハブとなり、これまで交流のなかった、ハワイ語と台湾の原住民語の研究者間の交流、海洋科学、農学分野の新たな研究交流が派生するなど、良好なネットワークが形成されている。

交流学生の実績

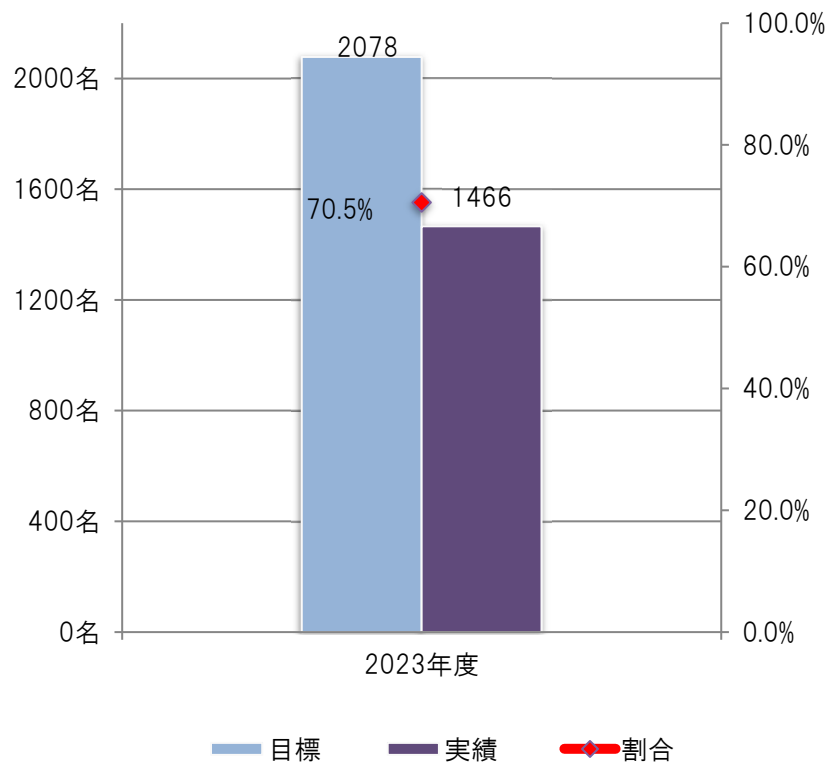
(1-1) 交流プログラムで留学した日本人学生数（派遣学生数）について

<全体の状況>

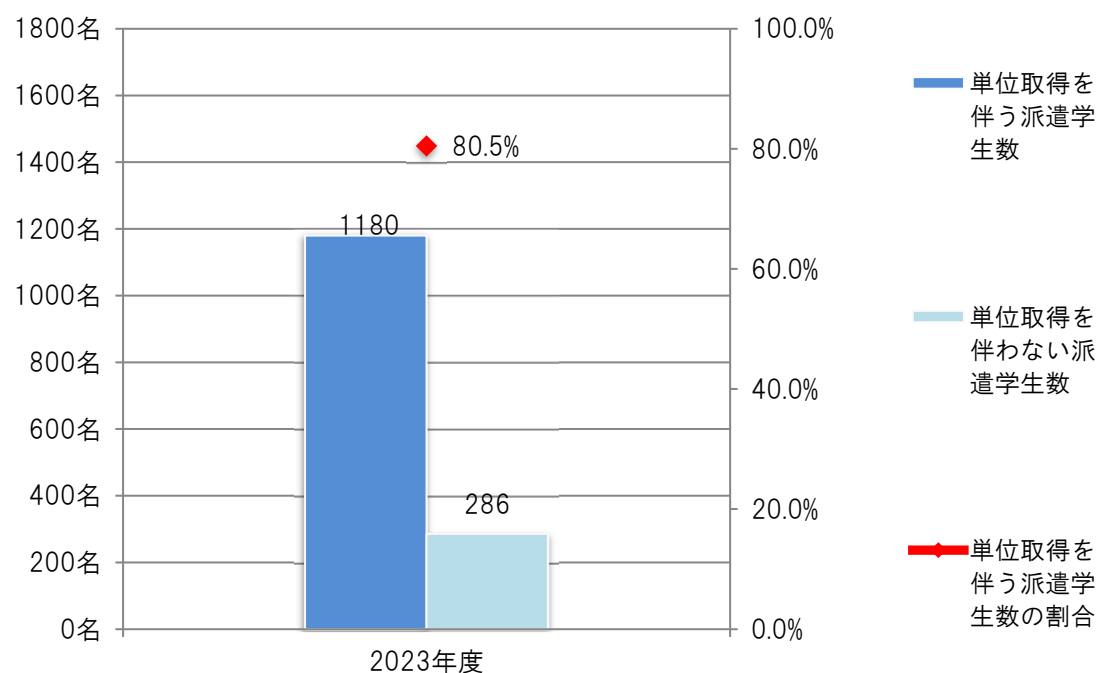
2023年度は初年度ということもあり、準備期間にあてた大学もあったため、目標達成率については、低い水準となっている。一方で、オンライン交流を活用した交流等により目標以上の実績を上げた大学もあった。

また、全派遣学生数の8割が単位取得を伴う派遣留学も経験できている。

目標に対する実績の割合(派遣)



単位取得を伴う派遣学生数



(1－2) 交流プログラム（派遣）の進捗状況のコメント

東京芸術大学 タイプA：交流型

USC訪問時には日米両学生がのちにコラボレーションする学生と顔合わせをし、お互いのこれまでの活動を紹介する時間を設け、米国学生招聘のための準備をした。のちにコラボレーションする相手に実際に対面することで、東京芸術大学学生は国際的な視点での自分のクリエイターとしてのアイデンティティを認識することができた。

○関西大学、東北大学、千葉大学 タイプB：交流+拠点形成・プラットフォーム構築型

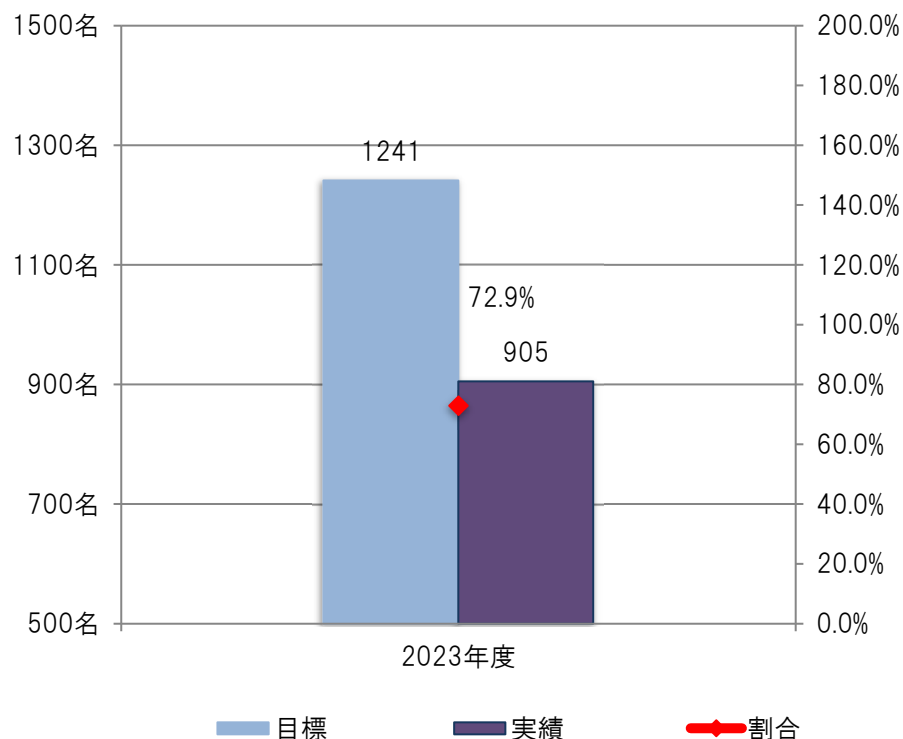
2023年度実施した派遣プログラムの中で特徴的であったのは、フロリダ国際大学（FIU）・スペインのカルデナル・ヘレラ大学（CEU）、そして日本は千葉・東北・関西大学の3大学が合同で実施したJIGE Blended Mobilityプログラムである。国内3大学すべての大学の学生が参加した点も、本プログラムの連携の意義として十分な実績とすることができたという点以外にも、4週間にわたり実施した3か国間のCOILモジュールも、各大学の教員の参加と貢献により非常に充実した内容となり、さらに現地（タラゴナ市）でのフィールド研修も、3か国の文化背景の異なる学生メンバーがチーム形成をして活動を行うなど、このようなプログラムでしか経験できない学びとなっており、参加した学生たちからの評価も高かった。

(2-1) 交流プログラムで受け入れた外国人学生数（受入学生数）について

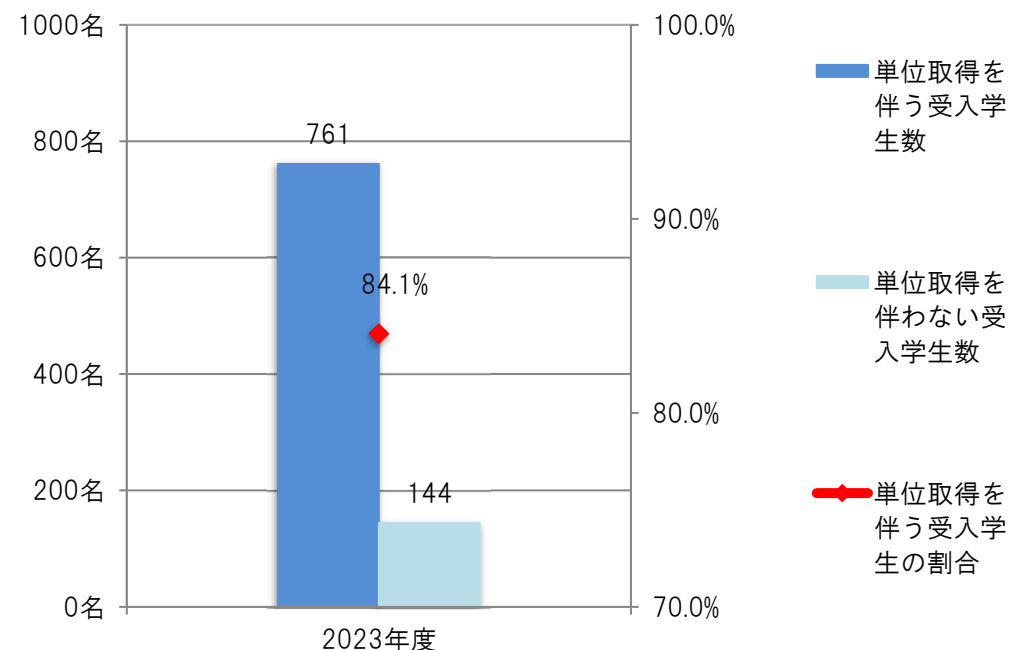
＜全体の状況＞

前述のとおり初年度のため、準備期間にあてた大学も多くあったことから、目標達成率については、低い水準となっている。一方で、派遣学生と同様、全受入学生数の8割が単位取得を伴う受入留学を経験できている。

目標に対する実績の割合(受入)



単位取得を行う受入学生の割合



(2-2) 交流プログラム（受入）の進捗状況のコメント

名古屋大学 タイプA：交流型

- 1) 2024年3月に主催したオンラインプログラムでは「AIと高齢化社会の未来を考える」をテーマに日米の学生が共に学ぶプログラムを実施した。最新の技術をGoogleや企業の専門科を招いて学び、レクチャーやグループ討議を含む10日間で実施した。米国からも30名を超える多数の学生が参加した。日米の学生達は、オンラインツールやバーチャルリアリティ技術を使用して交流した。また、高齢化社会をテーマに将来の新たなビジネスアイデアを創出するなど共同作業を行った。
- 2) COIL programを2科目で実施し、オンラインにおける交流実績を確保できた。

関西国際大学 タイプA：交流型

海外協力大学の4か国6大学から、学生16名、教員6名及び関西国際大学から3名の学生が参加し、神戸にて10日間の国際協働学修プログラムを実施した。日本の観光ホスピタリティ産業および防災・防犯による安全・安心な社会基盤整備に関する、神戸、大阪の取り組みについて研修を重ねることが出来た。研修のまとめとなる研修成果報告会を開催し、グループごとに参加者のアイデアに基づく日本の観光産業に関する提案および防犯体制の比較等について英語で発表した。海外からの参加学生は、研修中に日本の文化・慣習やその根底にある精神や考え方について触れる機会が多く、自らの文化背景と比較してその違いに驚きながらも、理解することができた。

(3) インターンシップ（派遣）の進捗状況のコメント

金沢大学 タイプA：交流型

「学校教育協働体験プログラム」では、約10日間の渡航中に、UCCS教員の仲介によって、保育園、小学校、中学校を訪問し、それぞれの学校において校長（園長）による校内案内と教員との質疑応答があり、参加学生は教室環境や教授法の違いを体験的に学んだ。また、日本語の通常授業にも参加し、日本語を専攻するUCCSの学生と交流した。帰国後COILでは、本プログラムでの学修をまとめたレポートに基づいた討論会を行い、学修成果を振り返ると共に、日本の教育に必要な変化などを検討した。参加者から、本プログラムは全体的に充実した内容で、将来のビジョンが明確になったと、高い満足度を得ている。

神戸大学 タイプA：交流型

シアトルインターンシッププログラムでは、ワシントン大学研究室附属の標本庫内で植物の標本作成にかかる約1か月のインターンシップを行い、リードカレッジの林冠生態学演習、ワシントン大学内樹木園での地衣類ワークショップに参加し、海外の研究者たちと協働する中で、異文化に対する理解を深めるとともに、植物標本における知見を広げ、再びワシントン大学で標本分類にかかるインターンシップを行った。

(4) インターンシップ（受入）の進捗状況のコメント

東京外国語大学 タイプA：交流型

海外連携大学の学生のインターンシップ参加を円滑に進めるため、オンラインを活用した渡日前オリエンテーション及び参加学生間の事前交流の機会を設定した。また、国内外の大学に機会を開放することにより、専門や使用言語の異なる学生同士が協働し、互いに学びあう国際的な共修の環境を整えることができた。

名古屋大学 タイプA：交流型

2023年度は新STEAM教育プログラム（ノースカロライナ州立大学からの大学院生中期受入）は実施できなかったが、本事業採択前から実施しているJUACEPにおいて2023年度はモントリオール工科大学の大学院生1名の中期受入を行った。当該大学院生には、現在新STEAM教育プログラムのテーマの一つとしている飛行ロボット研修テーマに取り組んでもらい、研修やその指導に必要な経験を得ることができた。

別表1:プログラムごとの派遣学生数(2023年度採択)

タイプ	大学名	事業名	取組 年度	合計人数		達成目標 に対する 実績の 割合 (%)	(内訳)															
				目標 (計)	実績 (計)		単位取得を伴う派遣学生数						左記以外の派遣学生数									
							(計)		30日未満		3ヶ月未満		3ヶ月以上		(計)		30日未満		3ヶ月未満		3ヶ月以上	
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
タイプ A	筑波大学	インクルーシブなスマートソサエ ティーを創成する国際スタートアップ 人材の育成	2023	110	17	15.5	0	2	0	0	0	2	0	0	110	15	110	0	0	15	0	0
			2024	720	0	0.0	500	0	0	0	400	0	100	0	220	0	220	0	0	0	0	0
			2025	825	0	0.0	500	0	0	0	400	0	100	0	325	0	325	0	0	0	0	0
			2026	925	0	0.0	500	0	0	0	400	0	100	0	425	0	425	0	0	0	0	0
			2027	925	0	0.0	500	0	0	0	400	0	100	0	425	0	425	0	0	0	0	0
			計	3505	17	0.5	2000	2	0	0	1600	2	400	0	1505	15	1505	0	0	15	0	0
	東京外国語大学	太平洋を≪架橋≫するブリッジ・パー ソン養成プログラム	2023	100	191	191.0	100	191	8	11	90	178	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
			2024	205	0	0.0	205	0	14	0	181	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			2025	210	0	0.0	210	0	14	0	185	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			2026	285	0	0.0	285	0	19	0	250	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			2027	285	0	0.0	285	0	19	0	250	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			計	1085	191	17.6	1085	191	74	11	956	178	55	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	東京芸術大学	STEAM教育を活用した情報メディア 革新時代の日米映像クリエイター育 成	2023	150	141	94.0	125	135	0	0	0	0	125	135	25	6	25	6	0	0	0	0
			2024	180	0	0.0	150	0	0	0	0	0	150	0	30	0	30	0	0	0	0	0
			2025	180	0	0.0	150	0	0	0	0	0	150	0	30	0	30	0	0	0	0	0
			2026	180	0	0.0	150	0	0	0	0	0	150	0	30	0	30	0	0	0	0	0
			2027	180	0	0.0	150	0	0	0	0	0	150	0	30	0	30	0	0	0	0	0
			計	870	141	16.2	725	135	0	0	0	0	725	135	145	6	145	6	0	0	0	0
	金沢大学	多層型日米連携協働教育プログラム による次世代グローバル人材育成	2023	18	3	16.7	18	0	8	0	10	0	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0
			2024	661	0	0.0	658	0	648	0	10	0	0	0	3	0	2	0	1	0	0	0
			2025	662	0	0.0	659	0	648	0	10	0	1	0	3	0	2	0	1	0	0	0
			2026	664	0	0.0	661	0	648	0	10	0	3	0	3	0	2	0	1	0	0	0
			2027	665	0	0.0	662	0	648	0	10	0	4	0	3	0	2	0	1	0	0	0
			計	2670	3	0.1	2658	0	2600	0	50	0	8	0	12	3	8	3	4	0	0	0
	信州大学	地域STEAM教育に関する国際共修 人材育成プログラム	2023	50	113	226.0	50	113	0	0	50	113	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			2024	405	0	0.0	405	0	0	0	405	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			2025	405	0	0.0	405	0	0	0	405	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			2026	405	0	0.0	405	0	0	0	405	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			2027	405	0	0.0	405	0	0	0	405	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			計	1670	113	6.8	1670	113	0	0	1670	113	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	名古屋大学	微分型成長を重視した分野横断型日 米協創人材育成	2023	478	158	33.1	387	33	242	1	141	28	4	4	91	125	87	108	3	17	1	0
			2024	662	0	0.0	556	0	333	0	216	0	7	0	106	0	100	0	4	0	2	0
			2025	898	0	0.0	767	0	369	0	390	0	8	0	131	0	125	0	4	0	2	0
			2026	963	0	0.0	832	0	414	0	410	0	8	0	131	0	125	0	4	0	2	0
			2027	994	0	0.0	863	0	444	0	410	0	9	0	131	0	125	0	4	0	2	0
			計	3995	158	4.0	3405	33	1802	1	1567	28	36	4	590	125	562	108	19	17	9	0
	神戸大学	「食」を通して持続可能な世界を実現 するグローバル人材育成のための異 分野共修型国際プログラム	2023	82	56	68.3	80	56	60	56	20	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0
			2024	967	0	0.0	965	0	943	0	20	0	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0
			2025	1017	0	0.0	1015	0	993	0	20	0	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0
			2026	1029	0	0.0	1027	0	1003	0	20	0	4	0	2	0	2	0	0	0	0	0
			2027	1039	0	0.0	1037	0	1013	0	20	0	4	0	2	0	2	0	0	0	0	0
			計	4134	56	1.4	4124	56	4012	56	100	0	12	0	10	0	10	0	0	0	0	0
	広島大学	AI時代の未来を拓く日米グローバ ル人材育成プログラム	2023	30	25	83.3	30	25	30	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			2024	879	0	0.0	876	0	870	0	0	0	6	0	3	0	3	0	0	0	0	0
			2025	879	0	0.0	876	0	870	0	0	0	6	0	3	0	3	0	0	0	0	0
			2026	879	0	0.0	876	0	870	0	0	0	6	0	3	0	3	0	0	0	0	0
			2027	879	0	0.0	876	0	870	0	0	0	6	0	3	0	3	0	0	0	0	0
			計	3546	25	0.7	3534	25	3510	25	0	0	24	0	12	0	12	0	0	0	0	0
	宮崎大学、南九州 大学、宮崎国際大 学、宮崎学園短期 大学	地域と世界を結ぶ「知」の循環：日・ 米・台・韓の地域からGXへ挑むグ ローバル人材育成事業	2023	129	120	93.0	129	94	129	94	0	0	0	0	0	26	0	0	0	26	0	0
			2024	200	0	0.0	200	0	200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			2025	258	0	0.0	258	0	258	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			2026	316	0	0.0	316	0	316	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			2027	384	0	0.0	384	0	384	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			計	1287	120	9.3	1287	94	1287	94	0	0	0	0	0	26	0	0	0	26	0	0
	琉球大学	インターアイランド・サステナビリ ティ教育プログラム	2023	105	100	95.2	105	79	105	77	0	0	0	2	0	21	0	21	0	0	0	0
			2024	408	0	0.0	408	0	406	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			2025	510	0	0.0	510	0	507	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			2026	612	0	0.0	612	0	608	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			2027	612	0																	

別表2:プログラムごとの受入学生数(2023年度採択)

タイプ	大学名	事業名	取組年度	合計人数		達成目標に対する実績の割合(%)	(内訳)															
				目標(計)	実績(計)		単位取得を伴う派遣学生数						左記以外の派遣学生数									
							(計)		30日未満		3ヶ月未満		3ヶ月以上		(計)		30日未満		3ヶ月未満		3ヶ月以上	
							目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
タイプA	筑波大学	インクルーシブなスマートソサエティを創成する国際スタートアップ人材の育成	2023	100	15	15.0	0	12	0	0	0	12	0	0	100	3	100	0	0	3	0	0
			2024	360	0	0.0	200	0	0	0	100	0	100	0	160	0	160	0	0	0	0	0
			2025	415	0	0.0	200	0	0	0	100	0	100	0	215	0	215	0	0	0	0	0
			2026	465	0	0.0	200	0	0	0	100	0	100	0	265	0	265	0	0	0	0	0
			2027	465	0	0.0	200	0	0	0	100	0	100	0	265	0	265	0	0	0	0	0
			計	1805	15	0.8	800	12	0	0	400	12	400	0	1005	3	1005	0	0	3	0	0
	東京外国語大学	太平洋を≪架橋≫するブリッジ・パーソン養成プログラム	2023	70	179	255.7	70	179	0	0	70	179	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			2024	80	0	0.0	80	0	0	0	73	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			2025	130	0	0.0	130	0	0	0	120	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			2026	170	0	0.0	170	0	0	0	155	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			2027	200	0	0.0	200	0	0	0	185	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			計	650	179	27.5	650	179	0	0	603	179	47	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東京芸術大学	STEAM教育を活用した情報メディア革新時代の日米映像クリエイター育成	2023	25	25	100.0	20	19	0	0	0	0	20	19	5	6	5	6	0	0	0	0
			2024	65	0	0.0	40	0	0	0	0	0	40	0	25	0	25	0	0	0	0	0
			2025	65	0	0.0	40	0	0	0	0	0	40	0	25	0	25	0	0	0	0	0
			2026	65	0	0.0	40	0	0	0	0	0	40	0	25	0	25	0	0	0	0	0
			2027	65	0	0.0	40	0	0	0	0	0	40	0	25	0	25	0	0	0	0	0
			計	285	25	8.8	180	19	0	0	0	0	180	19	105	6	105	6	0	0	0	0
	金沢大学	多層型日米連携協働教育プログラムによる次世代グローバル人材育成	2023	23	7	30.4	20	0	0	0	20	0	0	0	3	7	3	7	0	0	0	0
			2024	87	0	0.0	50	0	30	0	20	0	0	0	37	0	37	0	0	0	0	0
			2025	88	0	0.0	51	0	30	0	20	0	1	0	37	0	37	0	0	0	0	0
			2026	90	0	0.0	53	0	30	0	20	0	3	0	37	0	37	0	0	0	0	0
			2027	91	0	0.0	54	0	30	0	20	0	4	0	37	0	37	0	0	0	0	0
			計	379	7	1.8	228	0	120	0	100	0	8	0	151	7	151	7	0	0	0	0
	信州大学	地域STEAM教育に関する国際共修人材育成プログラム	2023	5	2	40.0	0	2	0	0	0	2	0	0	5	0	0	0	5	0	0	0
			2024	50	0	0.0	50	0	0	0	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			2025	50	0	0.0	50	0	0	0	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			2026	50	0	0.0	50	0	0	0	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			2027	50	0	0.0	50	0	0	0	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			計	205	2	1.0	200	2	0	0	200	2	0	0	5	0	0	0	5	0	0	0
	名古屋大学	微分型成長を重視した分野横断型日米協創人材育成	2023	289	126	43.6	274	79	175	0	56	40	43	39	15	47	15	47	0	0	0	0
			2024	429	0	0.0	396	0	244	0	107	0	45	0	33	0	30	0	3	0	0	0
			2025	628	0	0.0	596	0	266	0	285	0	45	0	32	0	27	0	5	0	0	0
			2026	786	0	0.0	751	0	347	0	359	0	45	0	35	0	30	0	5	0	0	0
			2027	813	0	0.0	781	0	377	0	359	0	45	0	32	0	27	0	5	0	0	0
			計	2945	126	4.3	2798	79	1409	0	1166	40	223	39	147	47	129	47	18	0	0	0
	神戸大学	「食」を通して持続可能な世界を実現するグローバル人材育成のための異分野共修型国際プログラム	2023	66	46	69.7	26	10	20	0	0	0	6	10	40	36	40	36	0	0	0	0
			2024	169	0	0.0	59	0	50	0	0	0	9	0	110	0	100	0	10	0	0	0
			2025	243	0	0.0	113	0	100	0	0	0	13	0	130	0	120	0	10	0	0	0
			2026	305	0	0.0	125	0	110	0	0	0	15	0	180	0	170	0	10	0	0	0
			2027	315	0	0.0	135	0	120	0	0	0	15	0	180	0	170	0	10	0	0	0
			計	1098	46	4.2	458	10	400	0	0	0	58	10	640	36	600	36	40	0	0	0
	広島大学	AI時代の未来を拓く日米グローバル人材育成プログラム	2023	30	24	80.0	30	24	30	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			2024	249	0	0.0	246	0	240	0	0	0	6	0	3	0	3	0	0	0	0	0
			2025	249	0	0.0	246	0	240	0	0	0	6	0	3	0	3	0	0	0	0	0
			2026	249	0	0.0	246	0	240	0	0	0	6	0	3	0	3	0	0	0	0	0
			2027	249	0	0.0	246	0	240	0	0	0	6	0	3	0	3	0	0	0	0	0
			計	1026	24	2.3	1014	24	990	24	0	0	24	0	12	0	12	0	0	0	0	0
	宮崎大学、南九州大学、宮崎国際大学、宮崎学園短期大学	地域と世界を結ぶ「知」の循環：日・米・台・韓の地域からGXへ挑むグローバル人材育成事業	2023	129	21	16.3	129	0	129	0	0	0	0	0	0	21	0	10	0	11	0	0
			2024	190	0	0.0	190	0	190	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			2025	248	0	0.0	248	0	248	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			2026	306	0	0.0	306	0	306	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			2027	374	0	0.0	374	0	374	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			計	1247	21	1.7	1247	0	1247	0	0	0	0	0	0	21	0	10	0	11	0	0
	琉球大学	インターアイランド・サステナビリティ教育プログラム	2023	35	80	228.6	35	74	35	74	0	0	0	0	0	6	0	6	0	0	0	0
			2024	108	0	0.0	108	0	106	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			2025	110	0	0.0	110	0	107	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			2026	162	0	0.0	162	0	158	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	